

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	英語の語彙・文法（４）	
科目基礎情報							
科目番号	0044		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	一般教科（平成25年度以前入学生）		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 470,Masahiko Yamaguchi,George W.Pifer,Cengage Learning/TOEIC テスト新公式問題集 vol.1～3						
担当教員	藤井 浩美						
到達目標							
1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に適切に対応することができる。 2.教科書や語彙集で取り上げた語彙・文法、決まり文句の60%以上を記憶し、正しく運用できる。 3.TOEICスコア375～450点、もしくはそれ以上を取得できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標1	TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に精通し、適切な対応ができる。		TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。		TOEICの出題傾向を把握できず、出題形式に不慣れで、各パートの問題形式に対応することができない。		
到達目標2	教科書や語彙集で取り上げた語彙・文法、決まり文句の90%以上を記憶し、正しく運用できる。		教科書や語彙集で取り上げた語彙・文法、決まり文句の60%以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。		教科書や語彙集で取り上げた語彙・文法、決まり文句の記憶が60%未満で、運用力が低い。		
到達目標3	TOEICスコア450点以上を取得できる。		TOEICスコア375～445点を取得できる。		TOEICスコア375点以上を満たすことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	TOEIC実践形式の問題演習を通して語彙力、文法力、聴解力、読解力を総合的に向上させ、450点以上のTOEICスコア達成を目指す。ダイアログ式の単語・熟語集を用いて、単語や熟語を記憶し、適切に運用する能力を習得する。						
授業の進め方・方法							
注意点	1.必ず予習をして授業に臨むこと。 2.授業には辞書（電子辞書可）を持参すること。 3.英単語・ダイアログ1200の小テストを実施するので日頃から計画的に取り組んでおくこと。 4.【重要】後学期中にTOEIC IPテストを必ず受験すること。（375点未満は評価割合の「その他」の得点が与えられない。）						
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	オリエンテーション				
		2週	Unit1 ～ Unit6			(1)TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に適切に対応することができる。	
		3週	Unit1 ～ Unit6			(2)教科書や語彙集にある予定、数量を訪ねる、命令・依頼、広告宣伝、時間を尋ねる、場所を尋ねる、などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	
		4週	Unit1 ～ Unit6			(2)教科書や語彙集にある予定、数量を訪ねる、命令・依頼、広告宣伝、時間を尋ねる、場所を尋ねる、などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	
		5週	Unit1 ～ Unit6			(2)教科書や語彙集にある予定、数量を訪ねる、命令・依頼、広告宣伝、時間を尋ねる、場所を尋ねる、などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	
		6週	Unit1 ～ Unit6			(2)教科書や語彙集にある予定、数量を訪ねる、命令・依頼、広告宣伝、時間を尋ねる、場所を尋ねる、などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	
		7週	Unit1 ～ Unit6			(2)教科書や語彙集にある予定、数量を訪ねる、命令・依頼、広告宣伝、時間を尋ねる、場所を尋ねる、などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	
	8週	中間テスト					
	4thQ	9週	Unit7 ～ Unit12			(1)引き続きTOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に適切に対応することができる。	
		10週	Unit7 ～ Unit12			(2)教科書や語彙集にある確認、留守電、アドバイス、誘い、申し出、講演者紹介などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	
		11週	Unit7 ～ Unit12			(2)教科書や語彙集にある確認、留守電、アドバイス、誘い、申し出、講演者紹介などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	
12週		Unit7 ～ Unit12			(2)教科書や語彙集にある確認、留守電、アドバイス、誘い、申し出、講演者紹介などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。		

		13週	Unit7 ~ Unit12	(2)教科書や語彙集にある確認、留守電、アドバイス、誘い、申し出、講演者紹介などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。
		14週	Unit7 ~ Unit12	(2)教科書や語彙集にある確認、留守電、アドバイス、誘い、申し出、講演者紹介などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。
		15週	Unit7 ~ Unit12	(2)教科書や語彙集にある確認、留守電、アドバイス、誘い、申し出、講演者紹介などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。
		16週	期末テスト	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	小テスト	合計
総合評価割合	60	0	0	0	20	10	10	100
基礎的能力	60	0	0	0	20	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0